

アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展

6月1日(木)～7月17日(月・祝) 9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館日/月曜日 ただし最終日は開館

観覧料

■一般 1,200円(1,000円) ■大学生 1,000円(800円) ()内は前売および20名以上の団体
本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます。

18歳以下無料

1986年、少女マンガ雑誌「りぼん」(集英社)で連載がはじまった「ちびまる子ちゃん」。

「清水の次郎長」でおなじみの静岡県清水市(現在の静岡市清水区)が舞台です。小学3年生のまるちゃんは、祖父母、両親、姉との6人家族。お茶の間での何気ない会話や、学校のできごと、クラスメートのことなどほのぼのとした日常生活が楽しく、面白く、時には少し切なくも、心あたまるストーリーです。

お菓子やおもちゃ、子どもたちの遊び、当時流行していたものなど、同世代にとってはなつかしさとともに、元ネタを連想してのクスッとした笑いも味わうことができます。

一方、その時代を知らない人たちにとっても「ああ、こんなことあるよね」と共感できるのが、ちびまる子ちゃんの世界です。

1990年にはテレビアニメ化され、放送がスタートしました。その年にアニメ部門過去最高視聴率39.9%(関東地区ビデオリサーチ調べ)を記録、さくらももこさんが作詞を手がけたエンディングテーマ「おどるポンポコリン」(歌:B.B.クィーンズ)はその年のレコード大賞を受賞しました。

2020年には放送開始30周年を迎え、現在でも幅広い世代の方々に愛されつづけている国民的アニメです。

今回の展覧会では、セル画、スケッチ画、絵コンテ、映像など約350点を展示し、アニメ「ちびまる子ちゃん」の30年の軌跡をたどります。アニメ制作の舞台裏もご覧いただける内容となっています。

放送開始当初のセル画や、原作者のさくらももこさん直筆の脚本、キャラクター設定資料など、貴重な資料にもご注目ください。

(周南市美術博物館学芸員 松本久美子)



アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展

2023 6/1(木)～7/17(月・祝) 9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館日:月曜日 ※ただし7月17日(月・祝)開館

観覧料:一般:1,200円(1,000円) 大学生:1,000円(800円) ()内は前売および20名以上の団体
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
※本展もご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます



主催/周南市美術博物館、朝日新聞社、yabun口朝日放送
後援/山口県、山口県教育委員会、周南市、下松市、光市、田布施町および各教育委員会
特別協力/さくらプロダクション、日本アニメーション 企画制作/東映

周南市美術博物館
Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花島町10-16 TEL (0834) 22-8880

<http://s-bunka.jp/bihaku/>
@Shunan_Bihaku
#Shunan_Bihaku

周南市
20th ANNIVERSARY

©さくらプロダクション/日本アニメーション



**ちびまる子ちゃん展
グッズ情報**



**ルートトバッグ
(全7種)
各3,080円**



**ピンズ(全7種)
各550円**



**キーリング
1,100円**



**日本手ぬぐい
880円**

※表示価格はすべて税込です。※商品のデザインと価格は変更になる場合がございます。※売切れの際にはご了承ください。

岩合光昭の 世界ネコ歩き2

Mitsuaki Iwago's World "cats" Travelogue Photo exhibition

7月28日(金)～9月18日(月祝)

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
月曜休館 ※ただし9月18日(月・祝)開館

NHK BSプレミアムで放送中の人気番組「岩合光昭の世界ネコ歩き」の写真展です。世界60カ所以上の撮影地から選ばれた16地域の個性溢れるネコたちの作品を紹介します。



リオデジャネイロ/コパカバーナ
©Mitsuaki Iwago



スペイン/マドリッド

観覧料

- 一般 1,200円(1,000円)
 - 大学生 1,000円(800円)
- ()内は前売および20名以上の団体

※18歳以下無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

第31回林忠彦賞 新田 樹「Sakhalin」(サハリン)

—授賞式・受賞記念写真展(東京展・周南展)を開催—

■ 授賞式 4月28日(金) コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル(東京)

受賞者の新田樹さんに周南市長・藤井律子より、賞状と目録、ブロンズ像が贈られました。授賞式には大石芳野選考委員長をはじめ、新田さんの師である写真家の半沢克夫氏など大勢の写真関係者が列席し、受賞を祝いました。



林忠彦賞
ホームページ



受賞の喜びを語る新田さん



藤井市長より表彰状、副賞、ブロンズ像が贈られました

ホームページより5人の選考委員へのインタビューをご覧ください。

■ 受賞記念写真展(東京展)

4月28日(金)～5月4日(木・祝) 富士フィルムフォトサロン 東京(東京ミッドタウン)

受賞作「Sakhalin」を展示。写真に興味のある方だけでなく、海外からの観光客も訪れ、連日多くの方が来場されました。



東京ミッドタウン、
富士フィルムスクエア 入口



会場風景

■ 受賞記念写真展(周南展)

5月12日(金)～21日(日) (周南市美術博物館)

12日(金)の開会式の後、新田さんによる作品解説がありました。13日(土)にはトークショーを開催し、有田館長が新田さんに、過去から現在に至るまでのような写真を撮ってこられたか、お話を聞きました。



会場風景



トークショーの様子

LAWSON

Frozen Party



バナナ

**340円
(税込)**

ローソン徳山動物園前店

0834 32-8363

※画像はイメージです。

ひほく 美博クイズ〜!〈113〉 もんだい

「ちびまる子ちゃん」のアニメ放送
がはじまったのはいつでしょう?

こたえはどこかのページにあるよ。さがしてみよう!

周南市美術博物館
常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：月曜日

展示室 4 林忠彦記念室

写真集発刊40周年記念
「西郷隆盛」

7/9(日)まで開催中

写真集『西郷隆盛』には、作家の松本清張が「林忠彦と西郷隆盛」と題した文章を寄せています。松本清張は、「林さんはこの写真集に西郷の軌跡を克明に追い、その背景となる風土を入念にとり入れた」と評しています。林忠彦は、明治維新に大きな役割を果たしながらも、最後は西南戦争で敗れ自刃した英雄の波乱に満ちた人生を、鹿児島をはじめとした南九州の風景の中に求めました。

この作品の撮影地、吹上浜の近くにある吹上温泉には、明治の初め、西郷隆盛が何度か滞在したそうです。

夕日が沈みゆく吹上浜。林はこの景色を通して、西郷への想いも表現したかったのでしょうか。



「吹上浜落陽」

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は6/30(金)まで

まど・みちおコーナーでは、まどさんが50歳代初めの数年間に集中して描いた抽象画を、数ヶ月おきに展示替えをしながら紹介しています。

これらの抽象画は、クレヨン、水彩絵の具、ボールペン、フェルトペンなどで紙に描かれています。

まどさんの詩は、ひらがなが多く使われ、わかりやすい言葉で読む人にストレートに伝わってきます。一方、絵は一見しただけでは、なかなかわかりづらい印象があるかもしれません。ですが、絵の前でじっと見ていると何か感じるものがあると思います。

まどさんの絵と詩、両方の世界をまど・みちおコーナーで味わってください。



徳山の歴史 特設コーナー

「系図をひもとく」 7/2(日)まで展示中

系図とは、その家の先祖代々の血筋を書きあらわしたものです。

一見するとどのように見たらいいのか、難しいと感じるかもしれませんが、だいたい決まった定形で書かれています。

今回の特設コーナーでは、毛利家と児玉家の系図から読みとき方を紹介しています。

「毛利家懐中系図」(徳山毛利家蔵)

毛利家は、もともと平安時代から学者の家として知られる大江氏から分かれています。平城天皇の子、阿保親王の子、大江音人に始まります。



びびびの美
2023年4月前半号
(系図をひもとく)



官職や位が書かれています。

母の名前、いつ亡くなったのか、亡くなった時の年齢が書かれています。

赤い線は縦に続いていて、父子関係をあらわしています。
横に長く引かれた線は兄弟関係を示しています。

美博クイズ〜! <113> こたえ

正解 1990年だよ。

「ちびまる子ちゃん」は1986年に雑誌の連載が始まって、1990年にアニメ放送が開始されたよ。その放送回数は1500回を超えているよ。主人公のまるちゃんは小学3年生なんだ。開催中の展覧会で、ちびまる子ちゃんの世界をぜひ楽しんでくださいね。

日通の えころじ
こんぽ

お見積り無料。まずはお電話を!

0120-154022

ひっこ し は にっつう

www.nittsu.co.jp/hikkoshi/

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

周南市誕生20周年記念
アニメ化30周年記念企画
ちびまる子ちゃん展
6/1(木)～7/17(月・祝)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

生誕110年
尾崎正章の世界展 ～6/4(日)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

佐藤健寿展 奇界/世界
～6/11(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

小林清親—光線画の時代
～6/18(日)

鏡よ鏡—浮世絵に描かれた
江戸のヘア・メイク
6/20(火)～7/23(日)

萩博物館 ☎0838-25-6447

古写真で見る幕末明治
～海外渡航者編～
～6/18(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

香月泰男 全版画展 後期
～6/19(月)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

所蔵品展 No.160
長府藩の御用絵師/
生誕110年 桂ゆき ～7/9(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

Go to 下関
—観光都市下関のルーツをたどる—
6/2(金)～7/30(日)

～ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～
周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

■ 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

■ 観覧料：一般200円(160円) 学生等100円(80円)

()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

■ 休館日：月曜日 ※6/5～30は展示替え等のため休館



生誕110年

6月4日(日)まで開催中

尾崎正章の世界展



展示風景



自画像 1946年
油彩・キャンバス

尾崎正章(1912～2001)は、ふるさと周南を中心に、人物や港の風景、身近な品々などをモチーフに絵を描きました。

今回は生誕110年を迎えたのを記念し、初期から晩年まで、彼の世界観を感じていただける作品を全館展示しています。

自画像や女性像をはじめ、尾崎作品の特徴である白を基調とした作品など、表現の移り変わりをご覧くださいと思います。



びびびの美 2023年4月後半号
(生誕110年 尾崎正章の世界展)

令和5年度の展覧会スケジュール

7/1(土)～9/3(日) 第2回企画展「土居健 作品展」
7/1(土)～9/10(日) 尾崎正章常設展「音のある世界」

9/23(土・祝)～11/26(日) 第3回企画展
9/23(土・祝)～12/3(日) 尾崎正章常設展「風のある世界」

2024年
1/13(土)～3/10(日) 第4回企画展
〈同時開催〉 尾崎正章常設展「香りのある世界」

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

季節のうつろい、わりの早いもので、今年も一年の折り返しとなりました。6月といえば梅雨入りですが、このことを栗花落(つゆり)とも言います。梅雨の季節に咲く花に栗の花があり、しとしと降る雨の中、栗の花が咲き散ることからこの字が当てられたのだと。

「日本の七十二候を楽しむ」旧暦のある暮らし(文・白井明大、絵・有賀一広)という本を読んで初めて知りました。

栗花落(つゆり)といえば、国民的人気漫画「鬼滅の刃」のヒロインであるカナヲちゃんの名字も栗花落(つゆり)と、読み方は多少異なりますが同じですね。あの難読漢字にこのような由来があったとは、驚きです。

さて、冒頭で「鬼滅の刃」関連のお話をしましたが、周南市文化会館では7月16日(日)に『声優朗読劇フォアレゼン』を開催します! 「鬼滅の刃」のアニメで「鬼舞辻無惨(きぶつじむざん)」役を務める「関俊彦(せきとしひこ)」をはじめ、若手人気声優たちとチェンバロ奏者「中野振一郎(なかのしんいちろう)」が中世を舞台とした物語「ルクレールの暗殺」を「声」と「音楽」のみで熱演します。朗読劇の後にはトークコーナーもあり、もしかしら制作秘話なども聞けるかもしれませぬ。声優さんたちの生の声を聴ける大変貴重な公演となっています。ぜひお越しください。

(編引)

